

たんちよう

JAくしろ丹頂
広報誌

vol.55
2012.4

くしろ丹頂



JA女性の歌を斉唱（女性部通常総会）

C O N T E N T S

- 釧路丹頂農協女性部通常総会
釧路丹頂農協酪農振興会 鶴居支部 設立総会開催 ——— 1
- 釧路丹頂農協青年部通常総会
釧路丹頂農協乳牛改良同志会定期総会 ————— 2
- チャレンジ60「946運動」酪農シンポジウム ——— 3
- 組合員ご結婚者のご紹介 / 理事会報告 ——— 4
- 普及センターだより ————— 5
- J A 北海道厚生連からのお知らせ ————— 6
- 生乳生産実績 / 家畜販売市況情報 / 辞令発令 / 新人紹介 — 7



青年部通常総会（大坂隼人議長・写真中央）

釧路丹頂農協女性部通常総会 開催



三月十七日、本所で第六回釧路丹頂農協女性部通常総会が開催されました。

はじめに部員ほか出席者二十七名により、J A女性組織綱領を朗唱しました。開会にあたり、峯田弘子部長は「東日本大震災から一年が経過し、一日も早い復興を願っております。」

一年を振り返ると、女性部交流会や青年部合同での牛乳消費拡大活動などを実施してまいりました。今後も部員の皆様方に

ご協力頂き、消費者との交流などを交えながら女性部活動を進めてまいる所存です。また、T P P問題等厳しい農業情勢ではありますが、女性の知恵と力を結集し、乗り切って行きたい。」と述べました。

議長には、幌呂支部の安藤幸子さんが務め、平成23年度事業報告及び平成24年度事業計画などについて協議し、議事は全件承認され、盛会のうちに終了しました。

釧路丹頂農協酪農振興会 鶴居支部 設立総会開催



三月二十一日、本所で釧路丹頂農協酪農振興会鶴居支部並びに幌呂支部が解散し、新たに鶴居支部の設立総会が開催されました。

今回の総会は、鶴居支部と幌呂支部が会員数の減少等により、両支部が解散して、組織の強化を図るべく両支部が合併し、新たに鶴居支部を設立、事業展開していくこととなりました。

鶴居、幌呂地区から代議員十九名が出席し、議長に鶴居地区の瀬川貴志さんが務め、規約の承認、役員の選任、平成24年度事業計画並びに収支予算の設定、会費の賦課及び徴収方法などについて協議しました。新役員は、支部長・竹中憲之さん、副支部長・折笠文則さんに決定しました。

釧路丹頂農協青年部通常総会 開催



三月二十二日、本所で第六回釧路丹頂農協青年部通常総会が開催されました。開催にあたり、部員ほか出席者三十六名全員でJA青年組織綱領を朗唱しました。菱沼和也部長から、「東日本大震災が大きな震災であったとつくづく思わされた年でしたが、私達青年部としても、出来る限りの支援活動を続けていきたい。そして、酪農を取り巻く情

勢が厳しくなる中で、盟友が結束して取り組んでいく事が大切で、今後も牛乳の消費拡大に向けたアピールを継続していきたい。」と挨拶がありました。議長には、音白支部の大坂隼人さんが選出され議事を進行し、平成23年度事業報告並びに平成24年度事業計画などについて協議し、議案は全件承認され、盛会裡に終了しました。

釧路丹頂農協乳牛改良同志会定期総会 開催



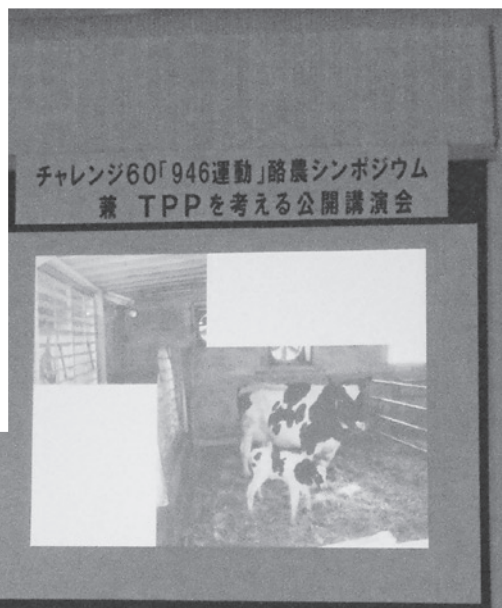
三月二十二日、本所で第六回釧路丹頂農協乳牛改良同志会定期総会が開催されました。開催にあたり、瀧澤一成会長は「一年を振り返ると、全国共進会の延期などもありましたが、東日本大震災で被災した方々の事を考えると、共進会に参加出来る事に幸せを感じます。酪農業界は明るい話題ばかりではありませんが、皆様方は

協力を得まして、今後とも活動を進めてまいりたい。」と述べました。乳牛改良同志会鶴居支部及び西部支部から二十一名の会員が出席し、議長に西部支部の松田浩二さんが務め、平成23年度事業報告及び収支決算について、平成24年度事業計画及び収支予算などについて協議し、議案は全件承認され、盛会裡に終了しました。

チャレンジ60「946運動」酪農シンポジウム 開催



講師：J A北海道中央会
根釧支所 主幹
熊谷 知之 氏



海外酪農研修事業実施報告



講師：日本農業新聞論説
委員室長
伊本 克宜 氏



講演「T P P最新情勢と政局・農政・酪農の行方」

三月二十三日、釧路全日空ホテルで、チャレンジ60「946運動」酪農シンポジウムが開催されました。
釧路地区酪農対策協議会、釧路農業協同組合連合会主催で行なわれたこのシンポジウムには、管内の酪農家及び各関係機関から約百七十名が参加し、当J Aから組合員・職員合わせて十九名が参加しました。
まず、J A北海道中央会根釧支所主幹熊谷知之氏による、「生産効率を高める

アメリカ酪農の現状」と題し、2011海外酪農研修視察実施報告が行なわれ、チャレンジ60「946運動」の研修生と視察した7農場について、経営概況及び各農場の特徴など、優良農場についての視察報告が行なわれました。
つづいて、日本農業新聞論説委員室長伊本克宜氏による「T P P最新情勢と政局・農政・酪農の行方」と題した講演が行なわれ、異常協定T P Pにおける内部の実情及び政局の行方、日本とアメリカ、

他国との関係について、生命産業である酪農の意義など、T P Pを多面的にとらえた解りやすい説明を受け、大変意義のあるシンポジウムとなりました。
※チャレンジ60「946運動」とは、
①乳量9kg／頭以上②牧草4kg／10a以上③牛乳生産コスト60円／kg以下を目標に酪農経営の効率化を目指す、管内全体で取り組んでいる運動です。



ご結婚おめでとうございます。

平成24年3月にご結婚された組合員の方々をご紹介します。

鶴居村 上幌呂	富坂 隆志さん 梨佳さん・旧姓（横田） 出身：釧路市	白糠町 御仁田	對木 隆司さん 美貴子さん・旧姓（高石） 出身：広島県広島市
3月31日 挙式		3月24日 挙式	
音別町 川西	佐藤 健一さん 幸恵さん・旧姓（佐藤） 出身：釧路町		
3月24日 挙式			

理 事 会 報 告

3月定例理事会 平成24年3月31日（土）

報告事項

1. 専決事項及び諸会議について
2. 各委員会・諸会議等について
3. 内部審査の結果について
4. 2月末（決算）財務状況について
5. 自己査定結果について
6. 事業の実施処理状況について
7. 経営定期点検の実施結果について
8. 平成23年度事業報告及び決算概要（見込）について

付議事項

- 議案第1号 平成24年度（第7年度）事業計画の設定について
議案第2号 平成24年度諸利率・料率の設定について
議案第3号 貸付金の利率の最高限度について
議案第4号 第6回通常総会の招集および提出議案について
議案第5号 議決権行使書面の取扱いについて

- 議案第6号 信用の供与等の最高限度額設定について
議案第7号 理事に対する資金の貸付について
議案第8号 役員と組合との取引基準の決定について
議案第9号 大口信用供与先に対する融資の承認について
議案第10号 余裕金預入金融機関の決定について
議案第11号 釧路市農業委員会委員の選任について
議案第12号 子会社の代表取締役候補者及び取締役候補者の選任について
議案第13号 個人情報保護統括管理者の選任について
議案第14号 諸規程の一部変更について
議案第15号 平成24年度コンプライアンス・プログラムの設定について

※以上全件原案通り承認されました。

その他協議事項

1. 春季地区別懇談会の開催について

大切な乾乳期間の 飼養管理

乾乳期間は次の泌乳へ向けた休息期間です。飼養管理をしっかり行い、分娩前後の事故を少なく過すことが重要です。

乾乳牛の管理方法改善へ向けて今一度見直して見ませんか。

一 乾乳期間の必要性

乾乳期間は、乳腺組織とルーメン絨毛を休ませることによって次の泌乳へ向けた準備をします。



乾乳期は三つの期間からなっている(図1)、55～60日間が一般的です。三産以上の高泌乳牛では45日間でも乳期乳量に問題がないといわれています。

●第一期間…搾乳休止により乳腺組織の退縮が始まり、30日で完全に停止します。粗飼料主体のエサでルーメンの絨毛が短くなります。

●第二期間…乳腺組織にとって真の休息期間です。

●第三期間…分娩の約一五～二〇日前から、乳腺組織の再生と乳腺内で初乳が分泌されます。

泌乳期間に増給される濃厚飼料に向けてルーメン絨毛を発達させる期間です。

二 飼養管理のポイント

乾乳期間は、子宮内の胎児は急速に大きくなり、体が重く動きが鈍くなってきます。子宮に圧迫されたルーメンの容積を保ちながら、分娩後も食い込めるようにしたいものです。そのためには、ストレスを少なくしたり、乾物摂取量を低下させないような配慮が必要です。

つなぎ飼いで 飼養環境の見直し

牛床は寝起きをしやすい

●牛床マットの導入や敷料を多めに投入することで、滑らない・乾いた・クッション性が高い牛床にしましょう。

●牛床が短ければスノコを利用したり、牛床延長の改善をしましょう。

●自由な寝起きや休息のために、タイストールへ改善することも方法です。



写真1 寝起きがしやすいつなぎの改善例

いつでも水が飲める

●ウォーターカップや水槽内のゴミは取り除いて清掃しましょう。

●吐水量の確認も必要です。

換気を良くする

●窓を開け、外の新鮮な空気を牛舎内に取り入れましょう。

扇風機を利用した暑さ対策や湿気を抜きながらの寒冷対策をしましょう。

給与飼料の見直し

良質な粗飼料を準備して腹いっぱい食べられるようにすることが大切です。しかし、乾乳期にカルシウムコントロールができなかったり、過肥につながる栄養濃度の高いエサを給与すると、分娩後にさまざまな疾病を招く恐れがあります。つなぎ牛舎では搾乳牛と区別して飼うことが重要です。

いつでも食べられるエサ準備

●よだれなどで汚れたエサは取り除いて、できるだけ新鮮なエサを食べられるように給与回数・エサ押しの回数を増やしましょう。

盗食防止対策

●乾乳牛のみ固めて飼える専用の場所を用意する。

●一頭分の牛床を空けて繋いだり、飼槽側に仕切りをつける。



写真2 盗食防止柵の設置

(平成二四年三月作成)

J A北海道厚生連からのお知らせ

肥満三大条件にお悩みの方に お勧めします

- 1) 運動量が減る
- 2) 体温が下がる
- 3) 摂取カロリーが増える

2~5倍
に希釈

食欲がない時や疲れを感じる時など
健康維持を心掛けている方は継続的
にお飲みください

高知県産黄金生姜・土佐一生姜にレモン果汁・黒糖を使用した商品。冷えた体がぽっかぽかになる飲料です。飲み方はいろいろ試してください。色々なアイデアで料理に使うのも絶品！



500ml	1,985円
1,000ml	2,940円



生姜のちからの豚肉カレーピカタ（2人分）

材 料

豚ロース肉（薄切り）4枚、小麦粉 適量、卵 1個

調味料

フジスコ生姜のちから 大さじ1、塩 適量、
こしょう 適量、カレー粉 適量、サラダ油 適量

- ① 豚肉の筋を包丁で切り、生姜のちからをかけ、5~10分間置く。
- ② ①で置いた豚肉に塩・こしょう・カレー粉を両面にかけ、小麦粉をまぶして卵をつける。
- ③ フライパンにサラダ油を熱し、両面を中火で焼く。
- ④ お好みで野菜等を添え、お皿に盛り合わせる。



製品のお求めは、お近くのJA配置薬推進員へ

石田 智 志（鶴居・幌呂） ☎090-5951-1874

谷田 将 信（白糠・音別） ☎090-3779-6979

■平成23年度	生乳生産実績（3月）			
	月計乳量（kg）	3月前年比（%）	累計乳量（kg）	累計前年比（%）
釧路丹頂農協	8,728,983.8	101.3	100,137,442.7	99.1
（鶴居地区）	2,898,411.5	104.9	33,239,796.1	100.7
（幌呂地区）	2,336,925.0	99.6	26,803,189.2	98.1
（白糠地区）	1,989,283.0	95.6	23,245,350.2	96.7
（音別地区）	1,504,364.3	105.4	16,849,107.2	100.9
管内計	45,769,059.0	100.5	533,946,013.1	99.8
（前年度管内計）	45,558,146.9		535,197,017.5	

家畜販売市況情報

乳牛

□予想相場

24年4月1日現在
（単位：千円）

規 格 \ 種 別		登 録 牛	
		上	中
育 成（8～12ヶ月）		300	～ 220
初 妊		550～530	530～500
経 産	2 産 ～ 3 産	370	～ 320
	4 産 ～ 5 産	320	～ 270

初生とく

24年4月9日現在

	規格	単価
初生とく	61kg～70kg	都度協議
	45kg～60kg	850円/kg
	40kg～44kg	750円/kg

（提供／ホクレン釧路支所）

黒毛和種

24年3月13日音更市場

（価格：円・体重：kg）

畜種	性別	成立頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均体重	体重単価
肉素	メス	595頭	724,500	215,250	401,721	284	1,414
	去勢	747頭	633,150	90,300	484,189	302	1,605

（提供／ホクレン帯広支所）

辞令発令	氏名	新所属	旧所属
平成24年4月1日付	小泉 聡	幌呂支所長 兼 幌呂支所牧場課長	幌呂支所長
	岡田 良広	幌呂支所 牧場課考査役	幌呂支所 牧場課長

新入職員の紹介



なん じょう まさ き
南 條 正 貴

- 所属部署／営農部 家畜改良課 家畜改良係
- 年 齢／20歳
- 出身地／天塩郡天塩町
- 出身校／遠別農業高校（H22年卒）
北海道立農業大学校（H24年卒）
- 趣味／バドミントン、DVD鑑賞（映画、ドラマ、ライブ）、テレビでの相撲観戦、機械操作（重機、トラクター）
- 特技／スポーツ（球技、陸上競技）、機械作業（農作業）

■組合員の皆さんへ一言

はじめまして。4月から営農部家畜改良課家畜改良係に配属の南條正貴と申します。社会人1年目で、知識や技術、社会人としても、まだまだ未熟なもので皆様にはご迷惑などおかけするかと思います。1日でも早く一人前になれるよう日々努力し、皆様のご期待に応えられるよう頑張りますのでよろしくお願い致します。

編集後記
EDITOR'S NOTE

- 酪農シンポジウムに出席し、熊谷知之氏の酪農研修報告を聞いて、各視察農場先では基本を忠実に実践し、生産効率を高めており大変勉強になりました。また、伊本克宜氏の講演では、TPPの最新情勢等について学び、今後もその動向が注目されます。
- 四月に入り雪解けも進み、春の農作業へ向けて、準備が進んでいると思います。農作業については、安全第一を心掛けるとともに、交通事故防止の徹底に努めましょう。